

令和元年度事業報告（事業の状況）

公益目的事業

本県木材関連産業の振興を図る事業

（1）情報収集提供事業

本県木材関連企業における製品開発や加工利用技術の向上に資するため、秋田県立大学木材高度加工研究所の試験研究成果、木材・木製品に関する法令や制度の制定・改正情報、各種研修会や講習会の開催案内、木材関連の新技术情報、当機構の業務紹介などについて、情報紙及びホームページにより適時広範な情報発信を行った。

1) 情報紙の発行

情報紙「木材加工最前線」を出捐団体や賛助会員をはじめ、県内の林業・木材関連企業や行政機関、県内外の試験研究機関等へ配布した。

（発行回数：3回(87～89号) / 発行部数：各号650部）

NO	発行部数	発行日	主 な 内 容
第87号	650部	R1. 8. 8	花火用マツの開発 / 2019年度木材基礎講座 / 木材高度加工研究所の運営協議会の開催について H30年度技術相談・依頼試験のあらまし / 改正建築基準法の説明会から / 世界に向けた県産材PRについて / 動き出す「木材クラウド」 / 新しい木質部材等を学ぶ建築講座について ほか
第88号	650部	R1. 12. 5	NCVプロジェクトとコンセプトカー / XIM4に参加して / 次世代型林業サプライチェーンの最前線 / 2019年度木材応用講座「木材の組織構造の特徴を利用した樹種鑑別」 県大創立20周年記念の市民向け講座 / 秋田杉桶樽サミット / 山形県森林ノミクス産業展inもがみ2019 / 東京相互筑波市場で「秋田材展」 ほか
第89号	650部	R2. 3. 30	木材を原料とした家畜飼料生産への挑戦 / スギー一般流通材で低コスト木造トラス / 「県大在籍6年8ヶ月でしたが、こんな人達とこんなに長いつきあいが・・・」 木高研の令和元年度講演会 / 夢広がる木の空間の創造！ / 林野庁長官特別講義 / 東京オリ・パラ施設出秋田スギ製品を使用 ほか

2) ホームページの運用

当機構の業務紹介、各種研修会や講演会の開催案内、最新の木材製品情報、木材関連産業のトピックスなど各種情報をホームページに掲載し、広く情報の提供を行った。

更新回数：HP3回、FB9回 / トップページへのアクセス数：2,681件

(2) 技術指導・移転事業

木材関連企業が抱えている木材製品の生産、加工、利用に関する技術的課題の解決をサポートするため、各種相談対応、現地指導、企業訪問、技術開発支援を行った。

1) 相談対応

来訪、電話等により企業から寄せられる諸課題に木高研と連携しながら対応し、必要に応じて資料送付、関連情報の収集提供、データ恵与、事例紹介などを迅速的確に行った。

相談件数 51件

① 内容別内訳 (件)

加工技術	生産技術	利用技術	情報提供ほか	計
3	5	6	37	51

② 業種別内訳 (件)

林業	木材加工	流通	建築設計	行政	試験研究	その他	計
0	33	1	1	0	2	14	51

2) 現地指導

企業からの派遣要請に基づき、当該企業が抱えている技術的課題の解決に適任の指導者を当機構の顧問、技術コンサルタントなどの中から人選し、直接企業に赴いての現地指導実績なし。

顧問指導 0社 / 技術コンサルタント指導 0社

区分	指導日	対応者	業種	内容
顧問指導	なし			
技術コンサルタント指導	なし			

3) 企業訪問

木高研の研究成果の民間への移転可能性を探るとともに、企業ニーズを把握して研究課題に反映することをねらいとした企業訪問を実施した。

訪問企業数 86社

社 (延べ)

林業	製材	合板	集成材	フローリング	プレカット	チップ	家具木工	建具	流通市場	工務店	その他	計
3	27	3	23	5	2	2	0	2	8	1	10	86

(3) 啓発研修事業

新製品開発に意欲のある企業や、社員の技術研鑽・知識向上に取り組む企業などを支援するため、公開講演会及び技術研修会を開催した。

1) 公開講演会

木材高度加工研究所の研究内容や成果を業界関係者、行政、他研究機関などへ広く周知するため、能代市、能代木材産業連合会と連携して研究所講演会を開催した。

開催日	会場	参加者	講師	演題
R2. 2. 5	キャッスル能代ホテル	130名	木材高度加工研究所 工藤佳世 助教	樹木はいつ成長しているのか？
			木材高度加工研究所 戸田守一 特任助教	木材を原料とした家畜飼料生産への挑戦
			木材高度加工研究所 吉田美佳 特任助教	林業の情報化と原木需給戦略

2) 技術研修会

既存の製材、集成材、合板等に加え、新たに開発されたCLTや複合木質部材、耐火部材等の公共・民間施設における木材の利用拡大を図るため、セミナーを開催した。

新しい木質部材等を学ぶ建築講座の開催(県受託事業)

開催日	会場	参加者	講師及び設計演習者	目的・内容
R1. 5. 17	秋田市民文化会館	9名	【講師】 木構造振興(株) 客員研究員 原田浩司氏 秋田県立大学 教授 板垣直行 氏 秋田公立美術大学 教授 小杉栄次郎 氏	【目的】 本県における木質構造等に精通した建築人材の育成を図る 【内容】 県税事務所と保健所・福祉事務所機能が一体となった「総合事務所」をテーマに、中大規模施設の建築に係る建築構造や木質部材の提案 ※設計演習者と講師の対話方式による作業を実施
R1. 7. 20	秋田市民文化会館	9名	【設計演習者】 (株)草階建築創作所 三浦 伸 氏 設計チーム木協同組合 藤田 剛 氏 (有)原田構造設計室 原田啓咲 氏	【演習課題】 「木造3階建て庁舎」の基本構想樹立
R1. 9. 10	秋田市民文化会館	9名		
R1. 10. 10	秋田市アルヴェ	119名		【成果発表】 ウッドファーストあきた推進イベントにおいて、設計演習者によるプレゼンテーション(成果品のパネル展示)を実施

学生を対象にした設計コンペの開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	審査委員等	演題・テーマ
R1. 11. 14	秋田市民文化会館	36名	審査委員長 秋田公立美術大学 教授 小杉栄次郎 氏 ほか委員8名	木材利用提案コンクール応募作品の審査 応募作品数 30点(学校数4校) 最優秀賞 1点 優秀賞 2点 特別賞 1点
R2. 1. 27	秋田県森林学習交流館	115名		木材利用提案コンクール表彰式及び作品の展示は、同日開催の秋田県林業技術交換研修会において実施

技術アドバイザー派遣事業（県受託事業）

開催日	会場	参加者	講師及び設計演習者	目的・内容
R1. 7. 4	秋田県自治研修所	37名	【講師】 木構造振興(株) 客員研究員 原田浩司氏 【派遣先】 建築行政職員研修及び営繕業務担当職員研修	【目的】 新たな木質部材等の利用促進等の実績を持つ専門家の配置と技術支援の実施。 【内容】 「事例で学ぶ木材と木質構造」

収益事業等	木材に関する調査・研究等を行う事業
--------------	--------------------------

企業や官公庁から発注される次のような木材に関する調査・研究事業等を行った。

- 1 企業からの依頼により、製材品・集成材・家具等の強度試験、木材の含水率や熱伝導率などの物性試験、不燃・準不燃などの防耐火試験のほか、ホルムアルデヒドの放散量測定、ドアの音響試験など、製品の品質管理や新製品開発過程などで必要とする各種の試験を実施する。
- 2 国の各省庁等が発注する木材の調査・研究に関する業務を受託する。
- 3 自治体等からの依頼を受け、木製ダム・木柵・木橋等の木製構造物の劣化等の診断を実施する。

依頼件数：102件

分野	件数	主な試験内容
強度試験	48	・製材及び集成材の曲げ試験 ・丸太の縦振動ヤング係数試験 ・CLTの疲労試験 ・イス、テーブルの強度試験 ・接合部のせん断試験 ほか
物性試験	32	・製材の含水率試験 ・集成材の減圧加圧はく離試験 ・ボードの乾湿寸法変化試験 ・フローリングの摩耗試験 ・接着性能試験 ほか
耐火・燃焼試験	9	・発熱性試験 ・柱脚部の耐火試験 ・接合部の耐火試験 ・梁の耐火試験 ・LVL梁の耐火試験 ほか
その他	13	・ボードのホルムアルデヒド放散量試験 ・樹種鑑定 ・鶴の舞橋の窄孔抵抗測定 ほか

■貸借対照表■

令和2年3月31日現在（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,381,359	245,412	7,135,947
定期預金	0	0	0
未収金	5,909,224	0	5,909,224
流動資産合計	13,290,583	245,412	13,045,171
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	0	23,700,062	△ 23,700,062
基本財産定期預金	20,000,000	18,400,000	1,600,000
基本財産未収金	0	15,653,260	△ 15,653,260
基本財産投資有価証券	550,304,000	677,677,102	△ 127,373,102
基本財産合計	570,304,000	735,430,424	△ 165,126,424
(2) 特定資産			
定期預金	115,000,000	0	115,000,000
特定資産合計	115,000,000	0	115,000,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
備品	2,623,275	3,084,975	△ 461,700
その他固定資産合計	2,767,275	3,228,975	△ 461,700
固定資産合計	688,071,275	738,659,399	△ 50,588,124
資 産 合 計	701,361,858	738,904,811	△ 37,542,953
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,466,067	9,890,724	△ 8,424,657
預り金	117,778	250,753	△ 132,975
流動負債合計	1,583,845	10,141,477	△ 8,557,632
負 債 合 計	1,583,845	10,141,477	△ 8,557,632
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	600,000,000	600,000,000	0
基本財産評価損益	△ 29,696,000	135,430,424	△ 165,126,424
指定正味財産合計	570,304,000	735,430,424	△ 165,126,424
（うち基本財産への充当額）	(570,304,000)	(735,430,424)	△ 165,126,424
2. 一般正味財産	129,474,013	△ 6,667,090	136,141,103
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	0
正味財産合計	699,778,013	728,763,334	△ 28,985,321
負債及び正味財産合計	701,361,858	738,904,811	△ 37,542,953